

全国ろうきんの概要

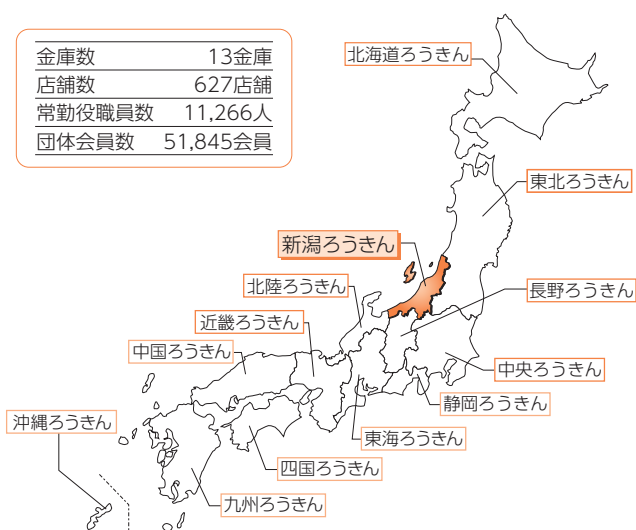
(2018年3月31日現在)

- 全国のろうきんは全国労働金庫協会(労金協会)と労働金庫連合会(労金連合会)を中央機関とし、13金庫627店舗が一大ネットワークを形成しています。
- 労金協会は全国各ろうきんの指導・調整・連絡・渉外などを、労金連合会は全国各ろうきんの親金庫として資金の需給調整・運用や全国的な統一業務を行っています。
- 全国の店舗は、労働金庫総合事務センターを中心にオンラインで結ばれ、内国為替やCDネットなど迅速、正確なサービスを提供しています。

全国ろうきんの概況

(単位：百万円)

金庫名	預金	貸出金
北海道	983,279	673,171
東北	1,962,329	1,142,273
中央	6,048,441	3,984,925
新潟県	797,694	380,594
長野県	655,927	345,170
静岡県	1,042,883	753,184
北陸	750,070	401,076
東海	1,602,810	1,349,781
近畿	2,120,613	1,271,716
中国	1,125,962	657,418
四国	593,794	374,969
九州	1,794,715	1,263,477
沖縄県	247,238	147,654
合計	19,725,762	12,745,413



ろうきん業態セーフティネット

お客様の預金を守る公的なセーフティネットとして「預金保険制度」があります。ろうきんでは、この「預金保険制度」とは別に、ろうきん業態独自のセーフティネットを用意しています。

1 番目の柱は、労金協会及び労金連合会による定期的な経営状況のモニタリングと労金協会内の労働金庫監査機構による監査です。経営上の問題が認められる場合には、その問題の程度に応じて必要な措置を講じ、問題の早期改善をはかることとしています。また、労働金庫監査機構は全国各ろうきんの監査を実施し、指導を行っています。

2 番目の柱は、労金連合会の金融機能を活用した「ろうきん相互支援制度」です。万一、ろうきんに経営上の問題が生じ、支援が必要となった場合には、労金連合会が緊急資金の貸出しや資本注入、資金援助等を行うことにより経営をサポートします。

